

平成 25 年（2013 年）5 月 10 日

長野県知事 阿 部 守 一 様

長野県がん診療連携拠点病院整備検討委員会  
会長 天 野 直 二

長野県がん診療連携拠点病院の機能評価（現地調査）の結果について（報告）（案）

平成 25 年 2 月 7 日（木）に実施した機能評価（現地調査）の結果について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 調査対象施設

- （1）飯田市立病院（飯田市八幡町 438 番地）
- （2）諏訪赤十字病院（諏訪市湖岸通り 5-11-50）

#### 2 評価基準

がん診療連携拠点病院の整備に関する指針（平成 20 年 3 月 1 日付け健発第 0301001 号）など

#### 3 調査結果

別紙のとおり

(別紙)

## 機能評価結果

### 諏訪赤十字病院

貴院は、平成18年8月24日に厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、諏訪医療圏におけるがん診療の中心的な役割を担っておられます。

今回の現地調査(機能評価)の結果、貴院はがん診療に対して積極的に取り組んでおられ、大いに評価するところですが、今後、さらに質の高いがん診療の提供に向け、次の点に取り組んでいただきますよう要望いたします。

#### ① 通院治療センターについて

貴院では新たに通院治療センターを整備し、医師の常駐化のもとで完結型の治療センターの運営を行うなど、素晴らしい取組を実践されているところです。貴院にはがん薬物療法専門医を取得した内科医がいますので、可能であれば同センターでのがん薬物療法専門医の常駐化をご検討いただき、更なるがん治療の向上につなげていただくことを期待しております。

#### ② 緩和ケアについて

緩和ケアのカンファレンスに各科の医師の関わりがはっきりしない部分がありましたので、今後はこうした医師の参加の促進をお願いいたします。

また、緩和ケアチームのリーダーについては、専任でなく専従の医師が望ましいと思われまます。

なお、診療報酬上、緩和ケアに専門で携わる人以外でも、がん性疼痛管理料やカウンセリング料を算定することができます。緩和ケアのすそ野を広げる意味でもこうした取組が進むことを期待しております。

#### ③ 地域連携クリティカルパスについて

地域連携クリティカルパスについて、大腸、肺及び肝臓等で実績がありません。地域連携クリティカルパスは、患者に対し退院後の診療計画等を示す重要なものであることから、今後は積極的に運用を進めていただきますようお願いいたします。